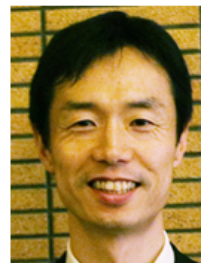


Bio-intelligence for well-being(BIW)研究会のご紹介 5 ～生命科学と工学で、人生100年時代を“Well-being”に～

TRPチャネル活性化をヒトで検出できるのか？ ～カカオフラバノール摂取に伴う脳活性度の評価～



応用脳科学研究室
佐藤 大樹 教授

2019-2020年度

【対象】男子大学生（10名・12名）

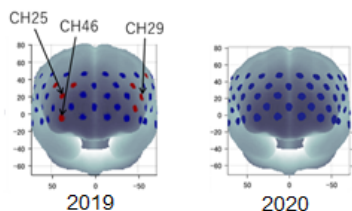
【比較条件】

ココア飲料（フラバノール67-108mg）摂取条件

対象飲料（フラバノール0mg）摂取条件

【検討内容】

減算課題・ワーキングメモリ課題に伴う脳活動信号を機能的近赤外分光法（fNIRS）を用いて計測したが、再現性ある結果が得られず。



ココア条件と対象条件で有意差が見られた脳部位



実験で使用したfNIRS装置
ETG-4000（日立→富士フイルム）

2021年度

【対象】中高年（40-64歳）の男女（20名）

【比較条件】

ココア飲料（フラバノール130 mg）摂取条件

対象飲料（フラバノール0mg）摂取条件

【計測内容】

- ・認知機能の改善余地がある中高年を対象とし、6種類の代表的認知課題を実施した。
- ・フラバノール摂取の効果が見られる認知能力を精査した結果、ココア摂取の30分後に、**持続的注意力**と**認知的柔軟性**のスコアが有意に改善することを確認。

“感覚研究”といったら芝浦工業大学



化合物合成



モデル化



In vitro評価



実験動物評価



ヒトでの評価



森永製菓(株)
山田養蜂場(株)
フジッコ(株)
シヤネル・・・

2022年10月22日（土）

第三回BIW研究会@豊洲

in 第27回日本フードファクター学会

To be continued・・・